

2026年度（令和8年度）

学生募集要項

大学院薬食生命科学総合学府
食品栄養科学専攻

博士前期課程

推薦入試

一次・二次募集

博士後期課程

一次・二次募集



静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

目 次

		ページ
目次	・ ・ ・ ・ ・	1
入試日程	・ ・ ・ ・ ・	2
[博士前期課程（推薦入試）]		
1 募集人員及び修業年限	・ ・ ・ ・ ・	3
2 出願資格	・ ・ ・ ・ ・	3
3 出願	・ ・ ・ ・ ・	3
4 選抜方法	・ ・ ・ ・ ・	4
5 試験日程及び会場	・ ・ ・ ・ ・	4
[博士前期課程（一次・二次募集）]		
1 募集人員及び修業年限	・ ・ ・ ・ ・	5
2 出願資格	・ ・ ・ ・ ・	5
3 選抜区分	・ ・ ・ ・ ・	6
4 出願資格審査・出願手続等	・ ・ ・ ・ ・	6
5 出願資格審査書類	・ ・ ・ ・ ・	7
6 出願書類	・ ・ ・ ・ ・	8
7 選抜方法	・ ・ ・ ・ ・	9
8 試験日程及び会場	・ ・ ・ ・ ・	9
[博士後期課程（一次・二次募集）]		
1 募集人員及び修業年限	・ ・ ・ ・ ・	1 0
2 出願資格	・ ・ ・ ・ ・	1 0
3 選抜区分	・ ・ ・ ・ ・	1 1
4 出願資格審査・出願手続等	・ ・ ・ ・ ・	1 1
5 出願資格審査書類	・ ・ ・ ・ ・	1 2
6 出願書類	・ ・ ・ ・ ・	1 3
7 選抜方法	・ ・ ・ ・ ・	1 4
8 試験日程及び会場	・ ・ ・ ・ ・	1 4
[博士前期（推薦含む）/博士後期共通]		
合格発表	・ ・ ・ ・ ・	1 5
出願書類の請求及び出願上の留意事項	・ ・ ・ ・ ・	1 5
その他	・ ・ ・ ・ ・	1 5
学府概要	・ ・ ・ ・ ・	1 7
専攻概要	・ ・ ・ ・ ・	1 8
研究室案内	・ ・ ・ ・ ・	2 0
試験会場	・ ・ ・ ・ ・	2 4

入 試 日 程

[博士前期:推薦入試]

- ・出願資格に該当する者
- ・合格した場合に入学を確約できる者

[博士前期課程:一次・二次募集]

- ・出願資格(1)(2)のいずれかに該当する者

[博士前期課程:一次・二次募集]

- ・出願資格(3)～(10)のいずれかに該当する者

[博士後期課程:一次・二次募集]

- ・出願資格(1)に該当する者で、一般選抜または外国人特別選抜に出願する者

[博士後期課程:一次・二次募集]

- ・出願資格(2)～(7)のいずれかに該当する者
- ・社会人特別選抜での出願を希望する者

※志望研究室主任教員と出願について相談した者

※志望研究室主任教員と出願について相談した者

出願資格審査書類受付期間

一次募集:2025年 6月9日(月)～ 6月13日(金)16:00必着
二次募集:2025年12月5日(金)～12月11日(木)16:00必着

出願期間

推薦入試:2025年6月 2日(月)～6月 6日(金)15:00必着
一次募集:2025年7月11日(金)～7月18日(金)15:00必着
二次募集:2026年1月28日(水)～2月 3日(火)15:00必着

試験日

推薦入試:2025年7月 2日(水) 草薙キャンパス
一次募集:2025年8月20日(水) 草薙キャンパス
二次募集:2026年3月 2日(月) 草薙キャンパス

合格発表

推薦入試:2025年7月9日(水) 10:00
一次募集:2025年9月2日(火) 10:00
二次募集:2026年3月5日(木) 10:00

※合格者の受験番号は本学ホームページにて掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

入学手続き日

推薦入試、および、一次募集:2025年10月24日(金)
二次募集:2026年 3月13日(金)

※推薦入試、および、一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続きをすることができます。
※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

博士前期課程（推薦入試）

1 募集人員及び修業年限

専攻	課程	募集人員	標準修業年限
食品栄養科学専攻	博士前期	10人	2年

※ 本専攻の研究室の研究内容等については、本要項の研究室案内のページ、薬食生命科学総合学府ホームページ及び大学院学府案内2025-2026（別途配布）を参照してください。

※ 「博士前期（修士）課程の修了要件は、本大学院に2年以上在学し、在学期間中に30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。」（静岡県立大学大学院学則から抜粋）

2 出願資格

2026年3月に本学食品栄養科学部食品生命科学科又は栄養生命科学科を卒業見込みの者で、卒業に必要な必修科目単位数のうち3年次までに配当された科目をすべて修得している者。かつ、現在の指導教員（主任教員）が出願者の学力・探究心等について責任をもって推薦でき、入学希望先の志望研究室主任教員と出願について十分に相談し、合格した場合に入学を確約できる場合に限る。

3 出願

(1) 出願期間

2025年6月 2日(月)～6月 6日(金)まで

※窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00（最終日は15：00まで）

※郵送・持参を問わず、**最終日の15：00までに必着。**早めの出願にご協力ください。

(2) 申請方法

角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。（封筒の表書きには「薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 推薦入試 出願書類在中」と朱書してください）。

郵送の場合は、**簡易書留郵便**または**簡易書留速達郵便**により提出してください（期限厳守）。

提出先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試室

(3) 出願書類

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書	所定の様式 ※出願前に、全ての出願者は、入学希望先の志望研究室主任教員と出願について十分に相談すること。
b	写真票	所定の様式。写真（4.0cm×3.0cm）を貼付すること。
c	卒業見込証明書 【原本】 *1	本学において作成、 厳封したもの を提出すること。
d	成績証明書【原本】 *1	本学において作成、 厳封したもの を提出すること。
e	入学検定料	30,000 円 郵便局の <u>普通為替証書</u> に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u>
f	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること。 2025年6月20日（金）までに受験票が届かない場合には入試室まで連絡すること。
g	住所票	所定の様式。住所・氏名を明記すること。「様」は消さないこと。
h	受け入れ同意書	所定の様式 入学希望先の志望研究室主任教員が署名及び捺印したもの を提出すること。
i	志望理由書	所定の様式 志望理由及び希望する研究の方向・抱負をまとめたものを提出すること。 (1500字前後、デジタルデバイスで作成した文書を印刷したものでも可)。
j	推薦書	所定の様式 指導教員が作成、厳封したもの を提出すること。 (デジタルデバイスで作成した文書を印刷したものでも可)

*1 姓が変更となっている場合は、住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

4 選抜方法

入学者の選抜は、口頭試問の結果及び出願書類の内容を総合して行います。

5 試験日程及び会場

(1) 試験日時

月 日	時 間	科 目 等
2025年7月2日（水）	受験票発送時に 通知します	口頭試問（推薦書・志望理由書等を 参考にして口頭試問を行う）

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス （※本冊子の24ページ参照）

博士前期課程（一次・二次募集）

1 募集人員及び修業年限

課程	募集人員 ※		標準修業 年 限
	一次募集	二次募集	
博士前期	15 人	若干名	2 年

※ 本専攻の研究室の研究内容等については、本要項の研究室案内のページ、薬食生命科学総合学府ホームページ及び大学院学府案内2025-2026（別途配布）を参照してください

※ 出願前に、**入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること。**

※ 一次募集及び二次募集の募集人員は、社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。

※ 「博士前期（修士）課程の修了要件は、本大学院に2年以上在学し、在学期間中に30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。」（静岡県立大学大学院学則より抜粋）

2 出願資格

2026年3月末日をもって、下記(1)～(10)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者（法第102条）※「大学」とは日本国内の大学を指します。
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号の2）
- (7) 文部科学大臣に指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号・昭和30年文部省告示第39号：旧制学校、気象大学校、防衛大学校、海上保安大学校を卒業した者など）
- (9) 本学学長が、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
（2026年3月までに3年以上の在学、15年の課程修了が見込まれる者を含む。）
- ※「所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」とは修得単位124単位以上（2026年3月までの見込みを含む。）、優以上が2/3以上で評定平均が4.5以上（優以上・S・A 5点、良・B 4点、可・C 3点）の者をいいます。
- ※中国の3年制大学（専科・職業学院等）のみ卒業した者は(9)には該当しません。
- (10) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

（法：学校教育法、施行規則：学校教育法施行規則）

出願資格(3)～(10)のいずれかに該当する者は、出願資格の審査を行います。

当該年度よりも前に出願資格審査で出願を認められた者も、改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

3 選 抜 区 分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当する者

※入学後において、企業、研究機関等で勤務をする者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者は、社会人特別選抜として出願できます。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務し、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く）で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は外国人特別選抜として出願できます。

4 出願資格審査・出願手続等

(1) 出願資格審査・出願期間

一次募集

出願資格審査：2025年6月 9日（月）～6月13日（金）

出 願 期 間：2025年7月11日（金）～7月18日（金）

二次募集

出願資格審査：2025年12月5日（金）～12月11日（木）

出 願 期 間：2026年1月28日（水）～ 2月 3日（火）

窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00

（ただし出願受付最終日は、15:00まで（郵送も含む））

(2) 申請方法

角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。（封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 博士前期課程 出願（もしくは出願資格審査）書類在中」と朱書してください）。

郵送の場合は、簡易書留郵便または簡易書留速達郵便により提出してください（期限厳守）。

提出先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試室

※証明書が1部しか発行されない等の理由で、卒業証明書や成績証明書の原本返却を希望する場合は、本学ホームページから「証明書【原本】返却願」を印刷し、必要事項を記入のうえ同封してください。
<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/genpon-henkyaku.pdf>

5 出願資格審査書類

一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。

期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所宛に郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

提出書類 出願資格	a	b	c	d	E	f	g	h	i
(3)	○	○	△	○	○				
(4), (5), (6)	○	○	△	出願資格を証明する書類は入試室に確認すること					
(7), (8)	○	○	△	○	○				
(9)	○	○	△	○	○	○	○	○	○
(10)	○	○	△	○	○	○	○	○	

※ ○は必ず提出してください。△は該当のある者は提出してください。

提出書類	説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a 出願資格審査申請書	所定の様式 ◎申請に先立って、入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること。
b 履歴書	所定の様式 初等教育（小学校相当の学校入学時）からの学歴、職歴等を記入した志願者本人の履歴書を1部提出すること。 履歴事項が多い場合は別紙を添付すること。
c 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票（ 在留資格、在留期間が明示されているもの ）を提出すること。 ※在留カードのコピーは不可 ただし、日本に在住していない外国人は、旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
d 卒業（見込）証明書 【原本】 *1	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。
e 成績証明書【原本】 *1	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
f 研究歴・研究内容の要旨 *1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
g 研究論文目録 *1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
h 研究論文 *1	「学位論文」の写し。ただし、学位論文がない者は、その他研究論文
i 推薦状	出願資格(9)で出願する者のみ提出 所属する学科長以上の推薦状（「公印」のあるものに限るが、書式は任意）

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

【外国の大学を卒業（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・ dが提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）の【原本】を提出してください。
- ・ d, e及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「**日本語訳または英語訳**」添付してください。
- ・ 外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

6 出願書類

※出願資格審査で提出済みの書類については、再提出は不要

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書	所定の様式。一次募集及び二次募集では、専攻の第3志望研究室まで記入することができる。 ※出願前に、全ての出願者は、入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること。
b	写 真 票	所定の様式。写真（4.0cm×3.0cm）を貼付すること。
c	卒業（見込）証明書 【原本】 *2*3	出身大学において作成、 厳封したものを 提出すること。
d	成績証明書【原本】 *2*3	出身大学において作成、 厳封したものを 提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。
e	入学検定料	30,000 円 郵便局の <u>普通為替証書</u> に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u>
f	返信用封筒 （受験票送付用）	市販の長形3号の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること。 以下の日までに受験票が届かない場合には入試室まで連絡すること。 ・一次募集 2025年8月8日（金） ・二次募集 2026年2月20日（金）
g	住 所 票	所定の様式。住所・氏名を明記すること。「様」は消さないこと。
h	英語能力判定テスト ・ TOEIC® L&R 公開テスト ・ TOEIC® L&R IPテスト ・ TOEFL iBT® いずれか1つの成績 【原本】 *4	●TOEIC® L&R 公開テストの場合（有効期限はありません） 「Official Score Certificate（公式認定証）」の原本を提出する。 ●TOEIC® L&R IPテストの場合（有効期限はありません） <u>スコアレポート（個人成績表）</u>を提出すること。 ●TOEFL iBT®の場合（入試実施日から過去2年以内に受験したものに限る） 「Official Score Reports（公式スコアレポート）」を米国ETSから本学へ直送する手続きを行うこと。手続き完了後にスコアの情報が本学に送信されるため、このデータが確認できた時点でスコアの受理とする。 ※原本は受験票送付時に返却。 ※受験してから英語スコアの交付まで相当期間を要するので、 出願期間に留意のうえ（間に合うよう）早めに準備すること

*2 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*3 大学を複数卒業している者や修士の学位に相当する学位を有する（見込含む）者など、証明書が複数になる場合は、事前に入試室に相談し、指示を受けてください。

*4 TOEICおよびTOEFL iBTはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

◎出願資格(2)で出願する者は、次の書類a, bのいずれかを併せて提出してください。

出願書類		説明
a	学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が発行したもの
b	修了見込証明書及び 学位授与申請予定証明書	学士の学位授与申請をする予定の者は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与申請（予定）証明書」及び「短期大学または高等専門学校の修了見込証明書」を提出すること。（A4判縦 様式任意）

◎社会人特別選抜で出願する者は、次の書類a, bのいずれかを併せて提出してください。

出願書類		説明
a	受験許可書	勤務先に在籍のまま入学を希望する者は、所属長または代表者が作成した受験許可書を提出すること。 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。（氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意）
b	勤務実績証明書	実務経験期間について勤務先の所属長または代表者が証明したもの 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。（氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意）

◎出願時に日本国外に在住の者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
経費支弁能力を 証明する書類	出願者は、自身の留学予定期間中に必要となる経費について十分な支弁能力があることを、以下の書類により立証して下さい。 (出願者本人が経費支弁者となる場合) ・経費支弁計画書（所定の様式） ・支弁の裏付けになる書類（本人の預金残高証明書等） (出願者本人と経費支弁者が異なる場合) ・経費支弁計画書（所定の様式） ・支弁の裏付けになる書類（預金残高証明書等） ・経費支弁者と出願者との親族関係を証明する書類

◎外国人特別選抜で出願する者は、教育や研究に必要なコミュニケーション能力を示す上で、日本語に関する公式スコアレポートや公式認定書など、公的書類を併せて提出することが望ましい。

- ・日本語
日本留学試験：<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>
日本語能力試験：<https://www.jlpt.jp/>
※原本は受験票送付時に返却します。

7 選抜方法

[一次募集]

入学者の選抜は、出願書類、学力検査（専攻関連科目）、英語能力判定テストのスコア（TOEIC® L&R 公開テスト、TOEIC® L&R IPテスト、またはTOEFL iBT®いずれか1つの成績）及び口頭試問の結果を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

[二次募集]

入学者の選抜は、出願書類、英語能力判定テストのスコア（TOEIC® L&R 公開テスト、TOEIC® L&R IPテスト、またはTOEFL iBT®いずれか1つの成績）及び口頭試問の結果を総合し、選抜ごと（一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜）に行います。

【海外在住者】出願受付期間前に、事前に志望指導教員に相談し、試験当日の良好な通信環境を準備できる場合に限り、オンラインによる口頭試問を認めます。

8 試験日程及び会場

(1) 試験日時

[一次募集]

月	日	時 間	科 目 等
2025年8月20日（水）		10:00～11:30（90分）	専攻関連科目
		受験票発送時に通知します	口 頭 試 問

※「専攻関連科目」について

- ・食品科学、栄養科学の基礎専門科目（化学・生化学・生物学・分子生物学を含む）から、選択して解答してください。
- ・出題範囲はホームページで公開（毎年5月末をめどに更新）しています。

[二次募集]

月	日	時 間	科 目 等
2026年3月2日（月）		受験票発送時に通知します	口 頭 試 問

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス（※本冊子24ページ参照）

博士後期課程（一次・二次募集）

1 募集人員及び修業年限

課程	募集人員 ※		標準修業 年 限
	一次募集	二次募集	
博士後期	5 人	5 人	3 年

※ 募集人員には社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。

※ 本専攻の研究室の研究内容等については、本要項の研究室案内のページ、薬食生命科学総合学府ホームページ及び大学院学府案内2025-2026（別途配布）を参照してください。

※ 出願前に、**入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること。**

※ 「博士後期課程の修了要件は、大学院に5年（博士前期（修士）課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む）以上在学し、36単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。」（静岡県立大学大学院学則より抜粋）

2 出願資格

2026年3月末日をもって、下記(1)～(7)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者（法第102条第1項）
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位（施行規則第156条第1号）
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第2号）
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第3号）
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第4号）
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学学長が修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者

（法：学校教育法、施行規則：学校教育法施行規則）

出願資格(2)～(7)のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜での出願を希望する者は、出願資格の審査を行います。

当該年度よりも前に出願資格審査で出願を認められた者も、改めて出願資格審査を受ける必要があります。
期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

3 選抜区分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(7)のいずれかに該当する者

※入学後において、企業、研究機関等で勤務をする者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者で、社会人特別選抜出願資格の確認または審査を通過した者は、社会人特別選抜として出願できます。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務する者で、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

※社会人特別選抜として出願する者は、社会人特別選抜出願資格審査が必要です。審査を通過しないと、社会人特別選抜として出願できませんので、ご注意ください。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く）で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は外国人特別選抜として出願できます。

4 出願資格審査・出願手続等

(1) 出願資格審査・出願期間

一次募集

出願資格審査：2025年6月 9日（月）～6月13日（金）

出 願 期 間：2025年7月11日（金）～7月18日（金）

二次募集

出願資格審査：2025年12月5日（金）～12月11日（木）

出 願 期 間：2026年1月28日（水）～ 2月 3日（火）

窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00

（ただし出願受付最終日は、15:00まで（郵送も含む））

(2) 申請方法

角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。（封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 博士後期課程 出願（もしくは出願資格審査）書類在中」と朱書してください）。

郵送の場合は、**簡易書留郵便**または**簡易書留速達郵便**により提出してください（期限厳守）。

提出先

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試室

※証明書が1部しか発行されない等の理由で、卒業証明書や成績証明書の原本返却を希望する場合は、本学ホームページから「証明書【原本】返却願」を印刷し、必要事項を記入のうえ同封してください。

(<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/genpon-henkyaku.pdf>)

5 出願資格審査書類

一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。

期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所宛に郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

提出書類	説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a 出願資格審査申請書	所定の様式 ◎申請に先立って、 入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること。
b 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票（ 在留資格、在留期間が明示されているもの ）を提出すること。 ※在留カードのコピーは不可 ただし、日本に在住していない外国人は、旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
c 修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *1 *2	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。
d 成績証明書【原本】 *1 *2	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出
e 研究歴・研究内容の要旨*1	A 4判縦、様式任意（日本語または英語）
f 研究論文目録 *1	A 4判縦、様式任意（日本語または英語）
g 研究論文 *1	「最終学歴の学位論文」の写しとその要旨（2000字程度、A 4判縦：横書）。学位論文がない者は、その他の研究論文

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 修士の学位に相当する学位を有さない者は、最終学歴における証明書を提出してください。

【外国の大学を卒業・修了（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・ cが提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）の【原本】を提出してください。
- ・ c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語または英語訳」を添付してください。
- ・ 外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

◎社会人特別選抜での出願を希望する者は、次のa, bの書類のいずれかを併せて提出してください。

追加提出書類	説明
a 受験許可書	勤務先に在籍のまま入学を希望する者は、勤務先の所属長または代表者が作成した受験許可書。宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用してください。 (氏名、所属先、在職期間を明記：A 4判縦 様式任意)
b 勤務実績証明書	在職していない者は、実務経験期間について勤務先の所属長または代表者が証明した勤務実績証明書。宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用してください。(氏名、所属先、在職期間を明記：A 4判縦 様式任意)

6 出願書類

※出願資格審査で提出済みの書類については、再提出は不要

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書 (進学願書)	所定の様式 ◎ 出願前に、全ての出願者は、入学希望先の志望研究室主任教員と教育や研究内容などについて必ず相談すること
b	写 真 票	所定の様式。写真（4.0cm×3.0cm）を貼付すること。
c	修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *3	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。
d	成績証明書 (学部、修士)【原本】 *3	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。
e	学位論文等 *3	「 修士論文 」の写し及び その要旨 をそれぞれ 1部 ずつ提出すること (2026年3月修士課程修了見込みの者は、 研究経過の要旨 でも可)。 ※出願資格(6),(7)に該当する者については、研究歴、研究内容の要旨、研究論文目録及び論文別刷（3編まで）をそれぞれ1部ずつ提出すること。 ◎ 要旨は2000字程度 とする。(A4判縦：横書)
f	入学検定料	30,000 円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u> ※本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期（修士）課程修了見込みの者で、本学大学院薬食生命科学総合学府・博士後期課程に進学を希望する者は不要。
g	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること。 以下の日までに受験票が届かない場合には入試室まで連絡すること。 ・一次募集 2025年8月8日（金）・二次募集 2026年2月20日（金）
h	住 所 票	所定の様式。住所・氏名を明記すること。「様」は消さないこと。
h	英語能力判定テスト ・ TOEIC® L&R 公開テスト ・ TOEIC® L&R IPテスト ・ TOEFL iBT® いずれか1つの成績 【原本】 *4	●TOEIC® L&R 公開テストの場合（有効期限はありません） 「 Official Score Certificate (公式認定証)」の原本を提出する。 ●TOEIC® L&R IPテストの場合（有効期限はありません） <u>スコアレポート（個人成績表）</u> を提出すること。 ●TOEFL iBT®の場合（ 入試実施日から過去2年以内に受験したものに限る ） 「 Official Score Reports （公式スコアレポート）」を米国ETSから本学へ直送する手続きを行うこと。手続き完了後にスコアの情報が本学に送信されるため、このデータが確認できた時点でスコアの受理とする。 ※原本は受験票送付時に返却 ※受験してから英語スコアの交付まで相当期間を要するので、 出願期間に留意のうえ（間に合うよう）早めに準備すること

*3 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*4 TOEICおよびTOEFL iBTはエデュケーショナル・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。
この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

【外国の大学を卒業・修了（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・ c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語訳または英語訳」を添付してください。
- ・ 外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

◎出願時に日本国外に在住の者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
経費支弁能力を証明する書類	出願者は、自身の留学予定期間中に必要となる経費について十分な支弁能力があることを、以下の書類により立証して下さい。 (出願者本人が経費支弁者となる場合) ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(本人の預金残高証明書等) (出願者本人と経費支弁者が異なる場合) ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(預金残高証明書等) ・経費支弁者と出願者との親族関係を証明する書類

7 選抜方法

〔一次募集〕〔二次募集〕

入学者の選抜は、口頭試問の成績、英語能力判定テストのスコア(*TOEIC*® L&R 公開テスト、*TOEIC*® L&R IPテスト、または*TOEFL iBT*®いずれか1つの成績)、成績証明書、学位論文または研究経過の要旨を総合し、選抜ごと(一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜)に行います。

【海外在住者】出願受付期間前に、事前に志望指導教員に相談し、試験当日の良好な通信環境を準備できる場合に限り、オンラインによる口頭試問を認めます。

8 試験日程及び会場

(1) 試験日時

◎一次募集

月	日	時	間	科	目	等
2025年	8月20日	(水)	受験票発送時に通知します	口	頭	試 問

※「口頭試問」について

- ・研究のプレゼンテーションを中心に研究能力を評価します。

◎二次募集

月	日	時	間	科	目	等
2026年	3月2日	(月)	受験票発送時に通知します	口	頭	試 問

※「口頭試問」について

- ・研究のプレゼンテーションを中心に研究能力を評価します。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子24ページ参照)

博士前期（推薦含む）/博士後期 共通

<合格発表>

発表日時 2 ページに記載のとおり

- (1) 合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>) にて掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします（電話等による照会には一切応じません）。
- (2) 合格通知書は、出願時に選択した方法（郵送または入試室での受け取り）にてお渡しいたします。
- (3) 所属研究室は合格通知書に記載されます。

<出願書類の請求及び出願上の留意事項>

- (1) 出願資格審査の提出書類および出願書類のうち「所定の様式」は、本学ホームページ（入試情報）に掲載のPDFファイルを印刷してください。（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>を参照）。または、入試室宛に請求してください。

※ 郵便で出願書類付の募集要項を請求する場合は、次のようにしてください。

ア 封筒の裏側に住所・氏名を明記するとともに、表側には必ず「**大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 募集要項請求**」と朱書きし、返信用封筒を同封して入試室宛に請求してください。

イ 返信用封筒は角形2号（縦 332mm×横 240mm）を使用し、受取人の住所・氏名・郵便番号を明記して、270円切手（速達の場合は 570円切手）を貼付してください。

- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (5) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (6) 過去の入学試験問題（専攻関連科目）は、本専攻ホームページ (<https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/graduate/entrance-exam/pt-gpfns/>) にて過去5年分を掲載しており、自由にダウンロードできます。また、学生部入試室（平日の9時から17時まで※昼休みを除く）または本学図書館で閲覧することができます。

本学図書館の開館日時等の詳細は下記にて確認してください。

【図書館】 TEL : (054) 264-5800（草薙キャンパス）

URL : <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/>

- (7) 入学志願者で、身体に障がい等（障がいの程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの）があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日時までに入試室へ必ず事前照会してください。

- ・推薦入試 2025年 5月16日（金）16:00まで
- ・一次募集 2025年 6月13日（金）16:00まで
- ・二次募集 2025年12月11日（木）16:00まで

<そ の 他>

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

- (ア) 受付日【持参の場合】※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

推薦/一次募集：2025年10月24日（金）

二次募集：2026年 3月13日（金）

- (注) 推薦入学の合格者は、所定の期日までに入学確約書を提出してください（用紙は合格者に発送）。推薦入学の合格者には9月末日までに「入学手続要項」を送付します。

- (注) 一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。その場合は必ず入学手続要項送付時に指定する期日までに学生部入試室に申請をしてください。

(イ) 主な提出書類・納付金

- a 宣誓書・保証書
- b 住民票（静岡県内の者のみ）^{注1}
- c 写真
- d 入学金^{注2、注3} ※入学手続要項送付時にお知らせします。
（参考）2025年度入学者実績：静岡県内の者141,000 円・静岡県外の者366,600 円

※注1：「静岡県内の者」とは、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が、入学手続を行う月の1日において、引き続き1年以上の期間静岡県に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

※注2：2025年度中に入学金が改定された場合には、改定後の入学金が適用されることとなります。

※注3：本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期（修士）課程修了見込みの者で、本学府・博士後期課程に進学する者については入学金不要です。

- e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。
（参考）2025年度入学者実績：2,470 円（博士前期）3,670 円（博士後期）

- f その他諸経費
（参考）2025年度入学者実績

課程	本学出身者※注	他大学出身者
博士前期	6,000 円	56,000 円
博士後期	9,000 円	59,000 円

※注：本学出身者であっても、卒業した学部や、志望する専攻によっては、他大学出身者と同じ金額になる場合があります。

- イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

（参考）2025年度入学者実績

前期授業料（入学時に納付）	267,900 円
後期授業料（10月に納付）	267,900 円
合 計（授業料年額）	535,800 円

注：年額一括納付はできません。また、2025年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

- ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について
一次募集合格者は、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。二次募集合格者は、合格通知書に同封する「入学手続要項」にてご確認ください。

- イ 授業料等の減免について
この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。
また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学金も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL（054）264-5009）。

- ウ 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している、育児・介護等を行う必要がある等の事情により、標準的な修業年限での修了が困難な者に限り、所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長して教育課程を履修することを認める制度です。この制度の利用により、授業料については、標準修業年限分の総額を長期履修が認められた年数で分割して納入することができます。詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL（054）264-5009）。

大学院薬食生命科学総合学府の概要

わが国が世界を先行する超高齢社会においては、健康増進によって疾病の一次予防を図るとともに、疾病があったとしてもその進行を食い止め、寿命に至るまでの生活の質保証が望めます。また、社会的負担軽減のためにも、「健康寿命」と「寿命」の間隔をいかに短縮するかが重要な課題となっています。この課題に対する根本的な解決のためには、「食品栄養科学・環境科学」と「薬学」の両面から「健康科学」の学問分野を拓く研究者、およびその成果を実践できる高度専門職業人と指導者の養成が望まれています。この時代のニーズに合った流動性の高い大学院の創成、すなわち幅広い専門教育を受けられるような教育の学際化、柔軟化を目的として、これまでの「生活健康科学研究科」と「薬学研究科」の教育組織を統合したものが、本学の自然科学系大学院「薬食生命科学総合学府」です。食品栄養環境科学研究所あるいは薬学研究所に属する教員が、それぞれの専門性を活かして学府の大学院学生の教育にあたります。

薬食生命科学総合学府は、「食・環境」の領域の食品栄養科学専攻と環境科学専攻、「薬」の領域の薬学専攻（4年制）と薬科学専攻、に、薬食生命科学専攻（博士後期課程のみ）を加えた5専攻からなります。

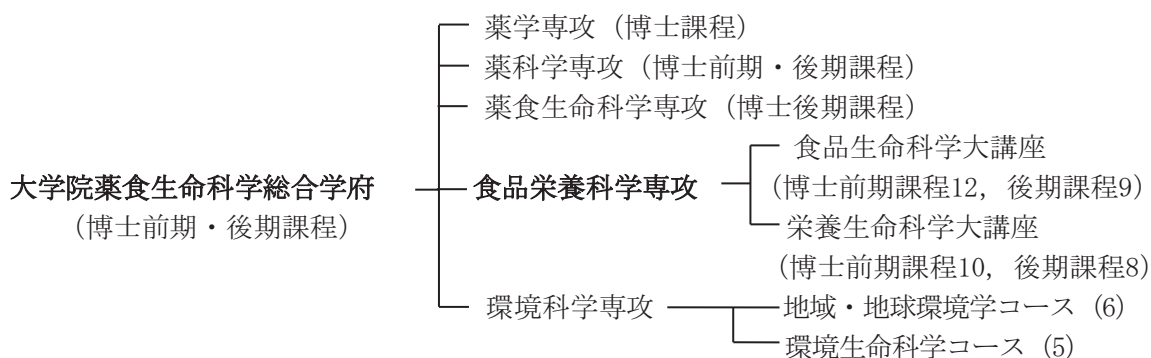
【学府の理念、目標】

健康増進や病気の予防・治療による健康寿命の延伸には、適切な医薬品や食品の開発・選択と、医薬品の適正使用が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学の観点から解明し、健康社会の構築に貢献する意欲があり、そのための努力を惜しまない学生を求めています。薬学、食品栄養科学、環境科学等の最先端科学を通して国際的に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像】

薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学に貢献する意欲のある学生を幅広く求めます。そのためには、

- 1) 薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学の習得と研究に必要な基礎学力
- 2) 国際的な科学コミュニティへの参加に必要な英語能力が必要です。



注) カッコ内の数字は研究室数。

食品栄養科学専攻の概要

食品栄養科学専攻は食品生命科学大講座と栄養生命科学大講座からなり、食品生命科学大講座では、食品の化学成分、加工貯蔵技術、食の安全性のほか食品の機能性、ケミカルバイオロジー、遺伝子工学などの教育研究を重視しています。栄養生命科学大講座では栄養素の生体応答、疾病発症の分子機構と予防に関する研究とともに、病気の治療における栄養・食事の管理や、生活習慣病予防に関する基礎的、応用的、実践的研究に力点を置いています。

【ディプロマポリシー（学位授与の方針）】

博士前期課程

「薬食同源」「食薬融合」を共通認識とし、食と健康にかかわる「食品栄養科学」の領域を牽引し、グローバルに活躍できる研究者や専門職業人の育成を教育目標としています。以下の資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に、修士（食品栄養科学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍するための語学力を含めたコミュニケーション能力を有している。
2. 倫理観
 - ・生命や人権に対して強い倫理観を持ち、社会人としてあるいは研究者として健全な科学倫理を身に付けている。
3. 高度な知識と技術
 - ・食品科学や栄養科学に関する高度な知識や技術を身に付けている。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・食品科学や栄養科学に関する独創的な研究を推進するための研究能力と意欲を有している。
5. 自己研鑽
 - ・食品科学や栄養科学に関わる研究者として、常に自己を評価し、自らを高める意欲と能力を有している。

博士後期課程

「薬食同源」「食薬融合」を共通認識として、食と健康にかかわる「食品栄養科学」の学問分野を牽引し、グローバルに活躍できる研究者や専門領域におけるイノベーターの育成を教育目標としています。以下に掲げる資質を身に付け、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び試験に合格した学生に博士（食品栄養科学）の学位が授与されます。

1. 高い国際対話能力
 - ・グローバルに活躍できる語学力を有し、高いコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けている。また、研究成果を世界に発信する能力を身に付けている。
2. 倫理観
 - ・生命や人権に対して強い倫理観を持ち、研究活動においても健全な科学倫理を身に付けている。
3. 高度な知識と技術
 - ・食品科学や栄養科学に関する高度な知識や技術を有するとともに、それらを活用・応用する能力を身に付けている。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・食品科学や栄養科学において独創的な研究を推進するための高度な研究能力と強い意欲を有している。
5. 自己研鑽
 - ・食品科学や栄養科学に関わる研究者として、常に自己を評価し、自らを高める意欲と能力を有している。

【カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

博士前期課程

食と健康についての生命科学的探究を通じ、健康長寿社会の基盤の確立を目指すことを基本に食品栄養科学における高い研究能力や幅広い知識を有し、企業、研究機関、保健・医療機関、行政等で主体的に活躍できる高度専門職業人及び研究者の育成を目的とし、教育課程を編成しています。

1. 特論科目、専攻専門科目、他専攻との共通科目を履修することで、食と健康に関する専門的知識と研究方法を身に付ける。
2. 食品栄養科学特別実験を履修することで、研究の計画や手法・手技などの能力を養う。
3. 研究の進捗状況を発表する学内のセミナー、各研究室が行う食品栄養科学特別演習、科学英語の履修などを通して、コミュニケーション能力を養うとともに、自己研鑽のための意識を醸成する。
4. 倫理に関する講習会などに参加することで、研究者としての倫理観を育成する。

博士後期課程

食品栄養科学に関する学位論文の作成を通じて専門分野における幅広い見識、問題解決の手法、論理的思考法、発展的課題の設定法、研究者に求められる倫理観を学び、食と健康に関する諸問題を解決し、実践で応用できるリーダーとして研究・教育機関、企業、保健・医療機関、行政等においてグローバルに活躍できる研究者、医療人や専門官の育成を目的として、教育課程を編成しています。

1. 研究の進捗状況を発表する学内のセミナーや国内外の学会発表を通して、研究の立案・遂行と問題解決の能力、論理的思考に基づく説明能力、発展的課題の発見能力に加えて、発信力、傾聴力、状況把握力を養う。
2. 演習科目、他専攻との共通科目を選択履修することにより、最先端の情報・知識から問題を解決して実践応用できる能力を育成し、食品栄養科学に関する高度な専門性を養う。さらに、他分野の情報を融合した創造力を身に付けることで、俯瞰的な視点を醸成する。
3. 研究の進捗状況を発表する学内のセミナーや科学英語の履修などを通して、コミュニケーション能力を養うとともに、自己研鑽のための意識を醸成する。
4. 倫理に関する講習会などに参加することで、研究者としての倫理観を育成する。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

「急速に進む超高齢社会に対応し、食を通じた健康の維持・増進ならびに疾病の予防・治療に貢献するための高度な生命科学の専門知識と技術を身に付けた研究者及び高度専門職業人を育成する」という本専攻の目的を理解し、本専攻で学びたいという意欲を持つ次のような人を求めています。

博士前期課程

1. 食品科学または栄養科学に関する基礎的知見を有し、さらに高度な知識や専門性を身に付けた人
2. 食と健康に関する生命科学の問題点を発見・解決する能力や研究を計画・遂行する能力を養いたい人

博士後期課程

1. 食品科学または栄養科学に関する高度な専門性を有し、さらにそれを高めるとともに優れた俯瞰力を養いたい人
2. 国際学術論文を発表する能力を養いたい人
3. 研究指導者に求められるリーダーシップを身に付けることを目指す人

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内 [I]

専攻名	食品栄養科学専攻	講座名	食品生命科学大講座
-----	----------	-----	-----------

(2025 年 4 月現在)

研究室名/担当教員 /直通電話番号 ^{*1}	主な研究内容	前期	後期 ^{*3}	
			食品	薬食
【食品分析化学】 教授 博(農) 熊澤 茂則 (5523)	○ 植物や食品中の生理機能成分の分析化学研究 ○ 食品成分の生理活性評価研究 ○ 食品成分のメタボリックプロファイリング研究	●	●	
【ケミカルバイオロジー】^{*2} 准教授 博(農) 鮎 信学 (5552)	○ 天然有機化合物の生合成 ○ 代謝工学的手法による有用物質の微生物生産 ○ ゲノム情報を基盤とした有用酵素の探索	●	●	
【食品工学】 教授 農博 下山田 真 (5522)	○ 食品タンパク質の変性挙動と食品の品質 ○ 食品中機能性成分の加工工程における変化の定量的解析 ○ 食品分散系（気泡、エマルション）の解析	●	●	
【食品化学】 准教授 博(農) 伊藤 圭祐 (5543)	○ おいしさの分子設計技術の開発：味と香りのデザイン ○ 新しい機能性食品の開発：身体への味と香りの作用解析 ○ ヒト味覚・嗅覚受容体応答評価システムを活用するフレーバープロファイリング技術の開発	●	●	
【食品物理学】 准教授 博(理) 本同 宏成 (5222)	○ 食品の構造、物性評価 ○ 食品素材の結晶成長 ○ 食品の構造制御	●	●	
【食品有機化学】 教授 博(薬) 江木 正浩 (5542)	○ 生活習慣病予防効果が期待されるファイトケミカルの合成研究 ○ 新規蛍光プローブの創製 ○ 環境に優しい物質変換反応の開発	●	●	
【食品衛生学】 教授 博(食品栄養) 増田 修一 (5528)	○ 食環境中に存在する化学物質のリスク評価 ○ 食中毒菌の病原因子発現メカニズム及びその制御 ○ 化学物質と病原微生物の複合暴露による生体影響	●	●	
【微生物学】 教授 博(医) 永井 重徳 (5553)	○ 微生物による（アレルギー等の）免疫疾患制御 ○ 微生物による免疫抑制関連分子の発現制御 ○ 敗血症後の免疫機能不全（免疫麻痺）における免疫細胞の動態制御	●		●

* 1：担当教員欄（ ）内は各教員室の直通電話番号（共通：054-264-）。

* 2：当該研究室を志願する場合には、専攻長（熊澤 茂則、電話：054-264-5523，e-mail：kumazawa@u-shizuoka-ken.ac.jp）に御相談ください。

* 3：薬食生命科学専攻を志願する者は、薬食生命科学専攻の募集要項を確認すること。

研究室名/担当教員 /直通電話番号 ^{*1}	主な研究内容	前期	後期 ^{*4}	
			食品	薬食
【生物分子工学】^{*2} 准教授 博(農) 河原崎 泰昌 (5540)	○ 真核微生物(酵母・麹菌)の遺伝子発現制御機構と酵素利用 ○ 産業用酵素・微生物の分子育種と食品製造プロセスへの応用 ○ 高効率な酵素生産系の開発・利用と新規な食品製造プロセスの創造	●	●	
【食品蛋白質工学】 准教授 博(農) 伊藤 創平 (5576)	○ 社会実装を志向した、産業利用酵素のインシリコスクリーニング、改変体のデザイン ○ 遺伝子データベースのデータマイニングによる、蛋白質高機能化手法の開発 ○ 構造生物学的手法を用いた酵素・蛋白質の機能解析	●	●	
【食品生命情報科学】 准教授 博(理) 中野 祥吾 (5582)	○ 次世代素材となる人工蛋白質創出を可能とするインシリコ技術開発 ○ 実験-情報技術を融合した手法による新規ファインケミカル合成法の確立 ○ 産業応用酵素の構造機能解析と計算化学解析	●		●
【人類遺伝学】^{*3} 教授 医博 小林 公子 (5220)	○ 生活習慣病発症に関与する遺伝要因と環境要因(特に食生活)の相互作用に関する研究 ○ 栄養と身体づくりを繋ぐ分子メカニズムの解析 ○ 昆虫飼料および昆虫食に関する研究	●		●

*1：担当教員欄（ ）内は各教員室の直通電話番号（共通：054-264-）。

*2：当該研究室を志願する場合には、専攻長（熊澤 茂則、電話：054-264-5523, e-mail：kumazawa@u-shizuoka-ken.ac.jp）に御相談ください。

*3：当該研究室主任教員は2026年3月で退職となりますので、新たな大学院生を指導することはできません。

*4：薬食生命科学専攻を志願する者は、薬食生命科学専攻の募集要項を確認すること。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府研究室案内〔Ⅱ〕

専攻名	食品栄養科学専攻	講座名	栄養生命科学大講座
-----	----------	-----	-----------

(2025 年 4 月現在)

研究室名/担当教員 /直通電話番号 ^{*1}	主な研究内容	前期	後期 ^{*2}	
			食品	薬食
【長寿生化学】 教授 博(農) 三好 規之 (5531)	○ 機能性食品成分の代謝・動態・作用機序解析 ○ 生活習慣病を惹起する腸内細菌代謝物の探索・同定 ○ 発がん要因マーカーの同定とがんの化学予防	●		●
【栄養化学】 教授 博(薬) 三浦 進司 (5559)	○ 運動や不活動による骨格筋特性変化の脂質生化学的解析 ○ 筋萎縮を予防する物質の探索とその作用機序の解析 ○ 消化管上皮機能における脂質生化学的解析	●	●	
【栄養生理学】 准教授 博(医) 細岡 哲也 (5533)	○ 白色・褐色脂肪組織の機能不全による代謝疾患の発症・進展メカニズムに関する研究 ○ 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) の病態解明と予防・治療法の開発 ○ 腸内細菌代謝物による代謝改善メカニズムに関する研究	●		●
【生理学】 准教授 博(食品栄養) 林 久由 (5532)	○ 小腸グルコース吸収輸送の活性調節機序とその生理学的意義の解明 ○ タイト結合部バリアタンパク質の腸管での役割の解明 ○ Na・Cl 輸送体活性調節の分子機構に関する研究	●	●	

* 1 : 担当教員欄 () 内は各教員室の直通電話番号 (共通 : 054-264-)。

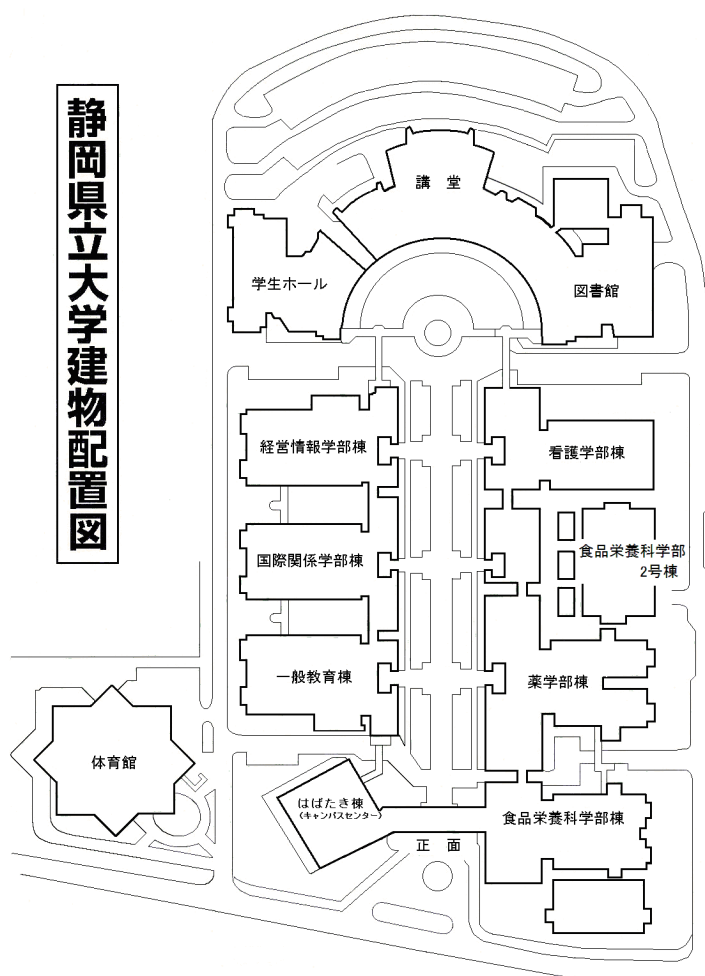
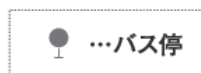
* 2 : 薬食生命科学専攻を志願する者は、薬食生命科学専攻の募集要項を確認すること。

研究室名/担当教員 /直通電話番号 ^{*1}	主な研究内容	前期	後期 ^{*2}	
			食品	薬食
【公衆衛生学】 教授 博(医) 栗木 清典 (5563)	○ 【データサイエンス】 日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study) 静岡・桜ヶ丘地区：文部科学省研究費補助金により、日本人の生活習慣と遺伝子 (ヒトゲノム) が病気とどのように関連しているのかを調べる全国研究 (10 万人：2035 年まで継続)、および、独自研究 ○ 【データサイエンス】 わが国の効果的な健康づくり政策を確立する栄養疫学研究 (J-MICC Sakura Diet Study)：ヒトゲノム、腸内常在菌プロファイルや尿中メタボローム、赤血球膜脂肪酸構成割合など「メガ・データ」を用いて、食生活習慣要因や生活習慣病との関連を検討	●	●	
【栄養教育学】 教授 博(医) 桑野 稔子 (5513)	○ 子どもの行動特性と食生活、健康状態との関連および効果的な栄養教育方法の構築に関する研究 ○ 生活習慣病予防・改善のための効果的な健康・栄養教育方法に関する研究 ○ 咀嚼能力とストレス状態、食生活・健康状態に関する研究	●	●	
【臨床栄養学】 教授 博(医) 保坂 利男 (5567)	○ 食生活習慣や治療と非感染性疾患 (糖尿病・サルコペニア) または併発症 (腎など) の関係の介入・横断・コホート研究 ○ 診療所の栄養指導や特定保健指導における指導実態と対策に関する研究 ○ 糖脂質代謝に対する栄養素/栄養成分のシグナル伝達物質としての役割に関する研究	●	●	
【臨床栄養管理学】 教授 博(栄) 新井 英一 (5511)	○ 高リン血症、高尿酸血症などの栄養管理法の構築および栄養指導の効果に関する研究 ○ 24 時間蓄尿法を用いた推定栄養素摂取量の把握および血清パラメータに対する食行動の影響に関する研究 ○ ビタミン D 代謝動態の評価に関する研究	●	●	
【フードマネジメント】 教授 博(栄) 市川 陽子 (5512)	○ 食材の機能性活用をめざすフラボノイドの調理種別変化と摂取後の生体内炎症指標の検討 ○ 特定給食施設等における適切な栄養管理業務の運営に関する研究 ○ フードサービスを介した食環境整備の効果に関する研究	●	●	
【公衆栄養学】 准教授 博(生活科学) 串田 修 (5832)	○ 農村における地域活性化の潜在的な健康への影響 ○ 地方公共団体における食環境整備の実態把握と効果検証 ○ 共食や農林漁業体験と健康状態	●	●	

* 1：担当教員欄（ ）内は各教員室の直通電話番号（共通：054-264-）。

* 2：薬食生命科学専攻を志願する者は、薬食生命科学専攻の募集要項を確認すること。

試験会場案内 静岡県立大学＜草薙キャンパス＞



《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL (054) 264-5007 FAX (054) 264-5199

メールアドレス: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

よくあるご質問: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/faq/>

食品栄養科学専攻ホームページ:

<https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/graduate/graduate-program/gpfns/>